



8月末に開催された北海道マラソンに中本健太郎選手、久保田大貴選手が出場しました。この北海道マラソンは日本でも数少ない真夏に行われるマラソンです。冬のマラソンと比べると気温、湿度共に高く、毎年タフな走りが要求されるレースでもあります。今大会は東京オリンピックマラソン代表選考会(MGC*)出場権獲得を目的とする選手が多く参加していたため、真夏でありながら、ハイペースでレースが展開しました。暑さに強い中本選手は、序盤は落ちついた走りで行き進めていきました。後半は少し疲れが見えたものの、持ち前の粘り強さを発揮し、見事5位入賞。無事MGC出場権を獲得しました。

選手コメント

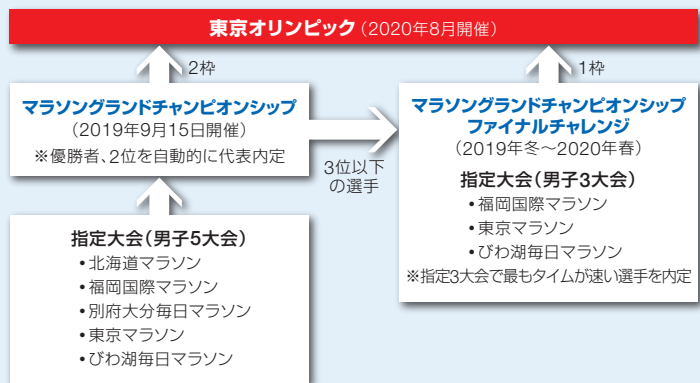
中本 健太郎

北海道マラソンでは、目標とする優勝は果たせなかったものの、来年行われるMGCの出場権を獲得する事が出来ました。これから選考レースに向けしっかり準備をしていきたいと思っております。今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。



※MGC(マラソングランドチャンピオンシップ)とは

日本陸上競技連盟が2020年東京オリンピックのマラソン代表選考会として新設したレースのことです(2019年9月15日開催)。国内の男子5大会、女子4大会を指定競技会とし、各大会で日本陸連が定めた設定記録、順位をクリアすることでMGCに出場できます。このMGCでは代表3枠のうち2枠を決める大会であり、優勝または2位に入れば東京オリンピック日本代表が内定します。残り1枠は、MGC以降の指定競技会(福岡国際マラソン、別府大分毎日マラソンなど)で最もタイムが早かった選手を内定とします。



新外国人ランナー加入!

今年7月から外国人ランナー、ダディ・トゥル・メルガ選手が入部しました。

昨年より好調を維持しているアツバイナ・デグ選手と共にトレーニングをしており、日本に来てからも順調に自己ベストを更新しています。今後の活躍をご期待ください。



◆ 18年7月～10月の主な戦績

日程	大会名	成績
7月 11日	ホクレン・ディスタンスチャレンジ2018(深川大会)	5000m: トゥル・メルガ B組1位(自己新記録) 10000m: 加藤風磨 B組12位、高橋尚弥 A組17位
7月 14日	ホクレン・ディスタンスチャレンジ2018(土別大会)	5000m: 高橋尚弥 A組7位
7月 22日	第32回サフォークランド土別ハーフマラソン大会	久保田大貴 14位
8月 17日～19日	第73回九州陸上競技選手権大会	10000m: 高橋尚弥 1位、100m: 大瀬戸一馬 2位、200m: 大瀬戸一馬 4位
8月 26日	北海道マラソン2018	中本健太郎 5位(MGC出場権獲得)、久保田大貴 52位
9月 9日	2018グレートノースラン-ハーフマラソン	高橋尚弥 12位
9月 21日～23日	第66回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会	100m: 大瀬戸一馬 準決勝敗退、200m: 大瀬戸一馬 準決勝敗退 5000m: 加藤風磨 総合42位、古賀淳紫 総合58位、10000m: 高橋尚弥 総合32位
10月 5日～9日	第73回国民体育大会(陸上競技)	4×100mリレー(福岡県チーム): 大瀬戸一馬 4位